

第9回 物流研究会

2026年9月17日(木)

16:00～

Presented by LogiTechnoService





ロジテクノサービス 株式会社

LTS SOLUTION

物流コンサル事業

- ・ ICD/CRUコンサル
- ・ 物流コンサル
- ・ 経営コンサル

貨物利用運送事業

- ・ 40社以上の協力会社と連携
- ・ 関東、甲信越、中部、関西
- ・ 海コン輸送、国内トラック輸送、他手配、

物流システム 企画販売事業

- ・ ロジマネ、海コンマッチング、を販売
- ・ 企画提案/カスタマイズ
- ・ XGと業務提携、共同開発やサポート

本日の流れ

- ▶ 16：00～16：10 株式会社LogiTechnoService 事業紹介
- ▶ 16：10～17：00 現役、慶應義塾大学生 講演
- ▶ 17：00～18：00 参加企業様PR（1人1分程度）
- ▶ 18：00～18：30 質疑応答、意見交換
- ▶ 18：30～19：30 交流タイム（名刺交換などコミュニケーション）
- ▶ 懇親会申込されている方は会場待機願います。



株式会社

Cargit

会社概

要

会社名

株式会社Cargit

事業内容

AI開発・業務設計及びDX・ソフトウェア開発

代表

河村亮

所在地

東京都文京区本郷6-25-14

Hongo Egg内





代表取締役CEO

河村亮

- 慶應義塾大学にてAI画像認識の研究に従事、国際学会で論文採択
- AIエージェント・RAG等の複数AI案件でPM／エンジニアとして企画・設計・開発をリード
- 東京大学 松尾研究室主催Deep Learning講座にて優秀生選出



取締役COO

猪俣一樹

- 過去には、スタートアップ企業に立ち上げに参画し、SNS運用代行業務及びの運営を経験
- 慶應大学最大のビジネス団体主催のピッチコンテストにて登壇し、最優秀賞を受賞





日本、すげえ。



価値は、作るだけでは届かない。

どれだけ良いものを作れても、必要な場所に、必要なタイミングで、きちんと届けられて初めて価値になる。



その価値を支えているのが、**物流・SCM**。

物流領域の課題



アナログな調整

メール・FAX・Excelを行き来し、
確認や転記を繰り返す。



属人的な現場判断

長年の勘と経験に頼り、
判断の根拠を共有しにくい。



慢性的な人材不足

担い手を確保しづらく、
限られた人員で業務を回す。

Vision

産業の最前線へ、
テクノロジーで価値を運ぶ。

物流・SCM領域に特化したAI・システム開発

業務の整理から技術検証、開発・運用まで一貫して支援

AI導入・業務変革支援

AI-OCR・AIエージェントを業務に組み込み、
既存システムとの連携まで対応

AI研究開発・新規サービス開発

Physical AI・画像認識などの最先端技術を
検証し、新しいサービス・機能を開発

取り組み事例

配車



配車判断の 半自動化

車両・荷物・運行条件から候補を提示し、
配車担当者の判断を支援

貿易書類



貿易書類の AI-OCR

インボイスなどの書類を読み取り、
必要な情報を抽出・データ化

通関



AIエージェントによる 税番判定

商品情報から税番候補と根拠を整理し、
担当者の確認を支援

エンジニアメンバー



エンジニア
上村 遼平

- 東京大学でデータサイエンスの研究に取り組む
- CargitではAI R&Dを主導



エンジニア
筧 翔空

- 東京大学松尾研のAI開発コンペで優秀生に選出
- 大学ではネットワークやセキュリティを専攻
- CargitではAI/深層学習の技術を担当



エンジニア
吉田 悠人

- RoboCup 2024 SSL Division B 世界大会優勝
- RoboCup 2026 ETDP 採択
- ava中心の経路探索・障害物回避・個別ロボット行動アルゴリズム開発

他にも慶應・東大などの出身エンジニアが多数在籍しております

み 物流領域特化xアカデミア発の技術力 x 現場起点の伴走支援

物流領域に対する
深いドメイン理解



専門性の高い複雑なドメインに対して、現場起点の伴走支援でAI開発を行うことが可能

国際学会レベルの技術力



慶應大学・東大出身のエンジニアによる、研究知見を活用した最先端のテクノロジーの実装が可能。

現場起点の丁寧なサポート



課題の特定から開発・運用・サポートまで一気通貫で支援します。



パートナー



物流の現状から、これからの仕事と担い手を考える

これからも物流を支えていくために、仕事の進め方と人材の両面から考えます。



物流の何が 変わっているか

- ✓ 小口化・件数の増加
- ✓ 2024年問題
- ✓ 2030年の見通し



仕事を どう変えていくか

- ✓ 業務の進め方
- ✓ 企業間のデータ連携
- ✓ DX・AI



これからの仕事を 誰が担うか

- ✓ 就職先としての物流
- ✓ 仕事や成長のイメージ
- ✓ 入社後のキャリア



学生の実際の 考えを聞く

- ✓ 仕事選び
- ✓ 情報収集
- ✓ 将来への希望や不安



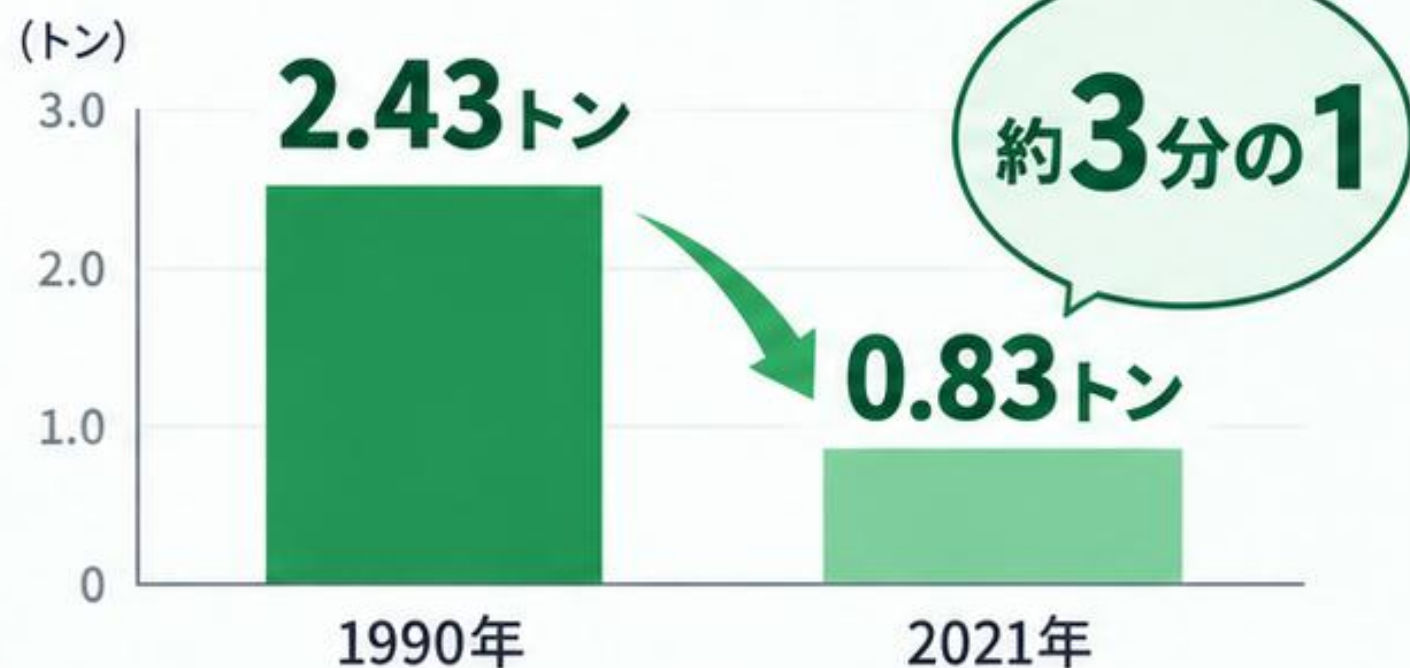
前半はデータで現状を確認し、後半は学生パネルで実際の考えを聞く。

荷物は小さくなり、扱う件数は増えている

重量だけでなく、件数に応じて発生する確認・手配も考える。



1件当たりの重量



物流件数



荷物は小口化し、件数は増加。
物流の仕事量は「重さ」だけでは見えない。



2024年4月から、自動車運転業務にも時間外労働の上限規制を適用。

2024年問題で問われた、働き方と輸送力の両立

働く人の時間や環境を守りながら、必要な輸送をどう続けるか。



営業用トラックの貨物輸送量

(億トン)



約**12%**
減少

営業用トラックの貨物輸送量は、2019年から2024年にかけて約12%減少。



見ておきたい点①

輸送力確保に向けた取り組みが進んだ。



見ておきたい点②

需要の減少も、需給の緩和に寄与した。



一方で、一部では輸送制限が残ると整理されている。



「目先の対応ができたか」と「今後も輸送力を確保できるか」は分けて考える。

2030年に向けて、輸送力をどう確保するか

需要が減る想定でも、供給の減少が上回れば不足は残る。

ケース	需要の想定	輸送力不足
 平均的な想定	24.3億トン	約 7%
 2024年水準の需要	25.1億トン	約 15%
 2019年水準の需要	28.4億トン	約 25%

ここがポイント

平均的な想定では、
需要**24.3億トン**に対し
供給**22.6億トン**。



需要が減っても、
ドライバーの減少などで
輸送力の縮小がそれを上回り、
2030年にも輸送力の不足が
続く見込みです。



今後は、人材の確保と、仕事の進め方の改善を
一緒に考える必要がある。

運転時間はほぼ同じ。荷待ち・荷役等の時間は短縮

効率化は、運転だけでなく待機や積み降ろしの工程にもある。



運転時間



運転時間は
ほぼ同じ水準です。



荷待ち・荷役等時間



↓ 1時間16分短縮



拘束時間全体



↓ 1時間33分短縮



仕事の進め方を見直す余地は、運転以外の工程にもある。

荷待ち＝積み降ろし等を待つ時間、荷役＝積み降ろしなどの作業

出典：国土交通省「トラックドライバーの1運行当たりの平均拘束時間に関する調査結果」

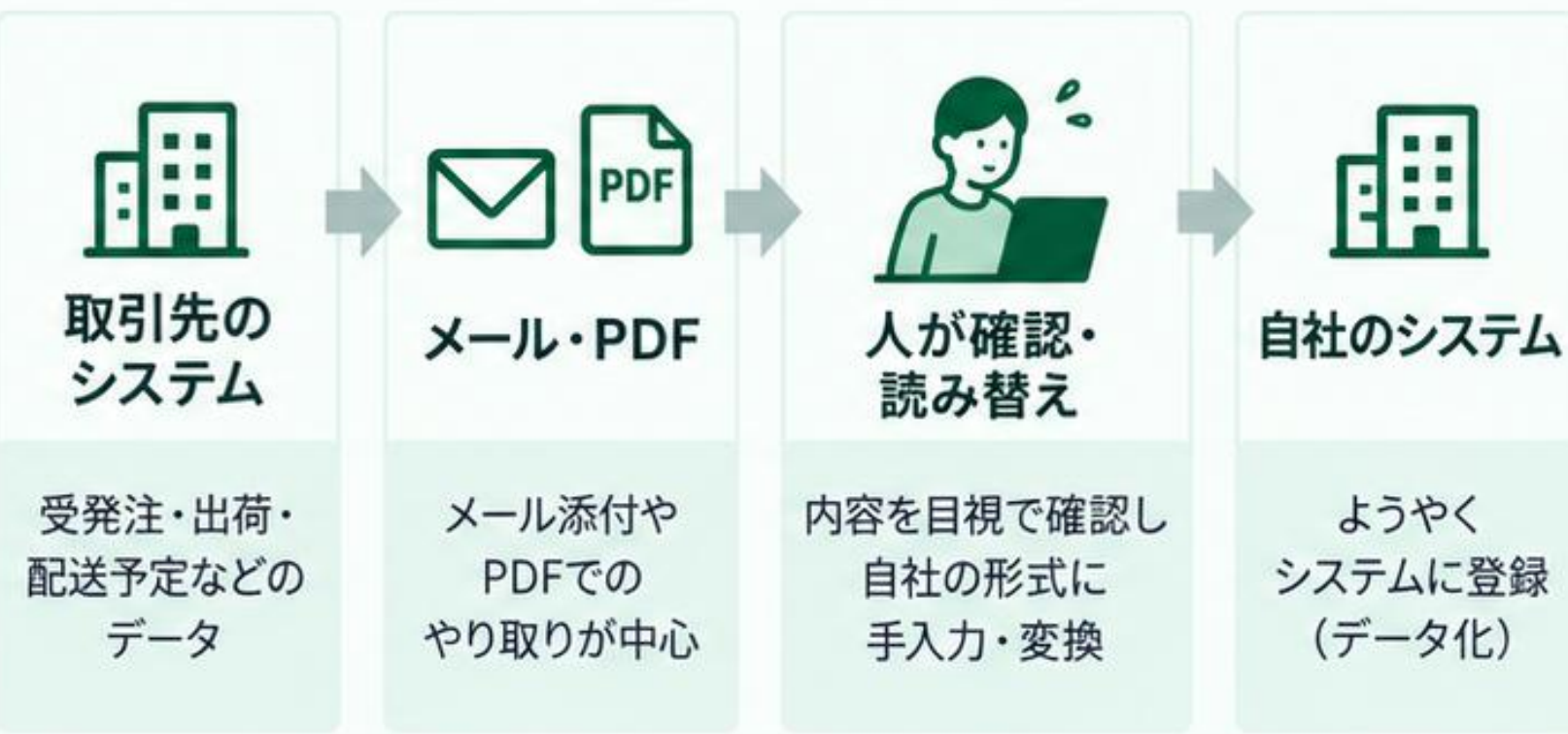
自社の電子化から、企業間のデータ連携へ

自社の中だけでなく、取引先と情報をそのままつながれるかが重要。

複数事業者間のデータ連携に取り組む割合

	2025年度実績	2030年度目標
 荷主	26%	50%以上
 物流事業者 (トラック・倉庫)	21%	50%以上

いまの多くの現場では、こんな流れに…

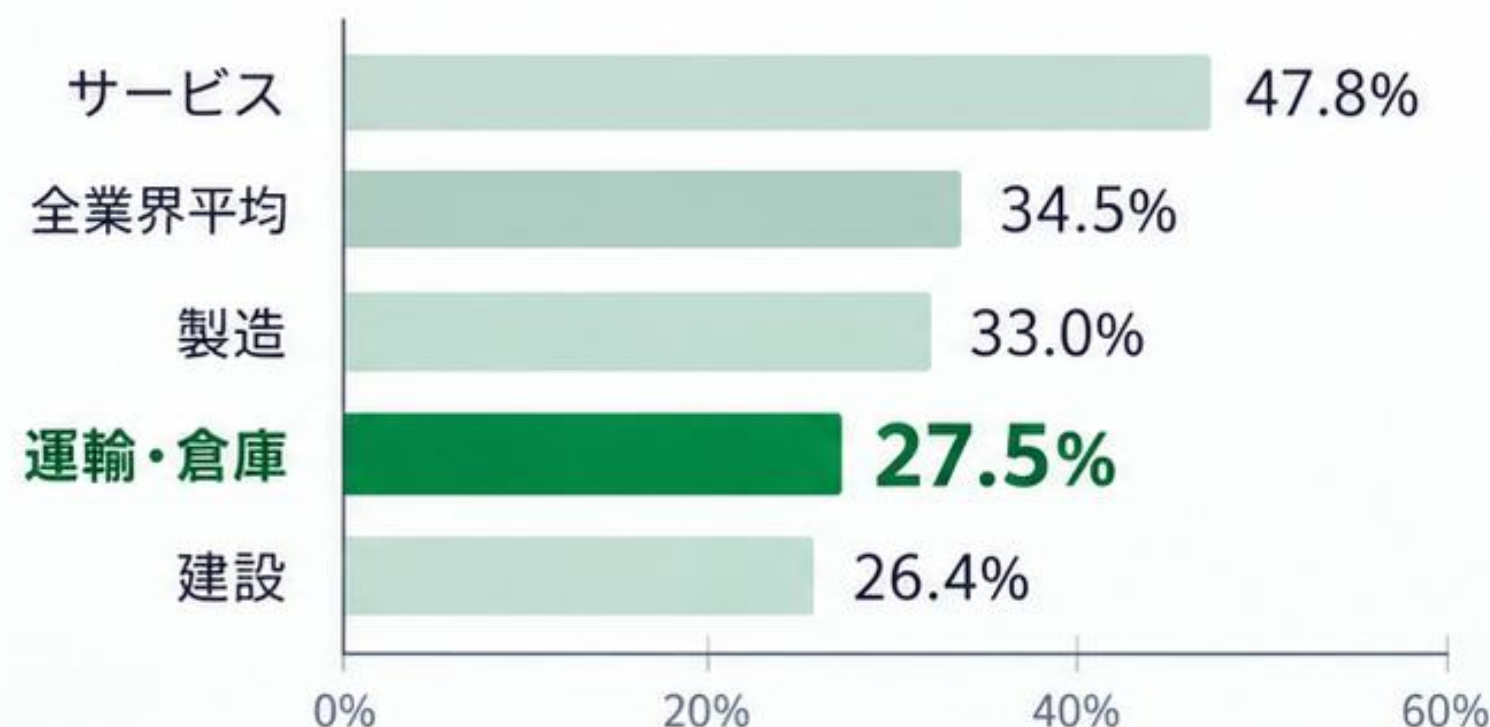


自社で電子化していても、
相手の情報をそのまま使えるとは限らない。

運輸・倉庫の生成AI活用を、他業界と比べる

活用率は全体平均を下回る一方、活用中の企業の多くは効果を実感。

生成AIを業務で活用している企業の割合



活用企業の効果実感（運輸・倉庫）



気づき

活用率は全体平均を下回る一方、
活用している企業の多くは効果を感じている。

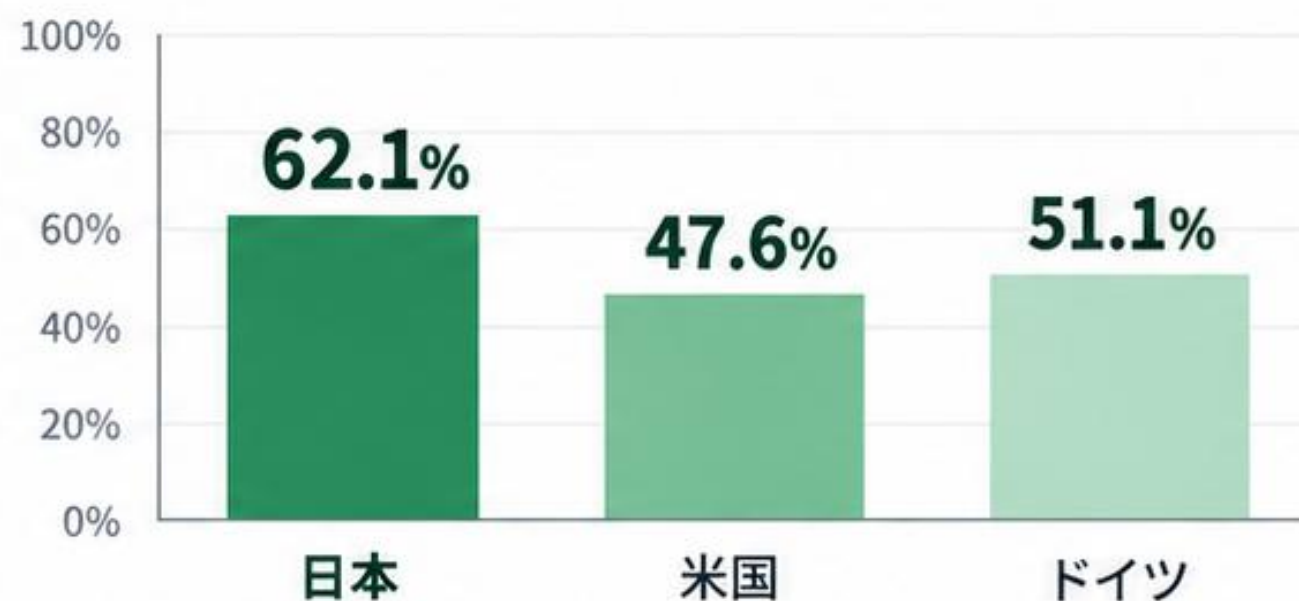
日本と海外では、AIの使い方に違いがある

個人で使うことと、部署の業務に組み込まれることは別。

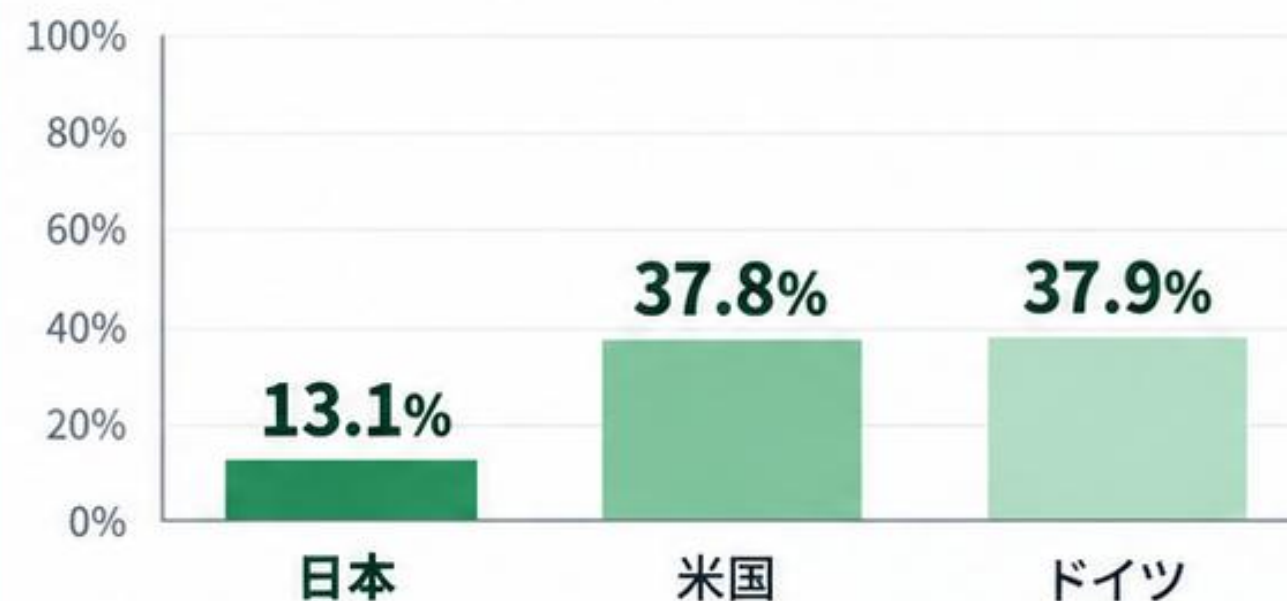
生成AIの利用状況（企業全般の調査）

※物流に限定しない企業全般の調査

個人で業務利用している



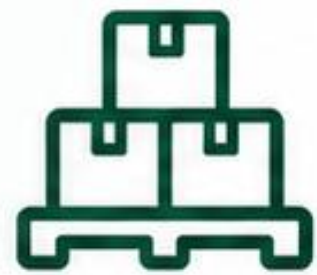
部署の業務プロセスに組み込まれている



日本は個人で使っている割合が高い一方、部署の業務への組み込みには差がある。

大きな物流産業。就職先としては、どう見られているか

物流産業の規模



営業収入合計

約**29**兆円

従業員数

約**223**万人

学生の現在の志望業界順位

1位

ソフトウェア・情報処理・ネット関連

3位

食品・農林・水産

9位

鉄道・航空

10位

機械・プラント

同率
27位**陸運・海運・物流**「陸運・海運・物流」を就職先として
検討したことがある割合**10.1%**

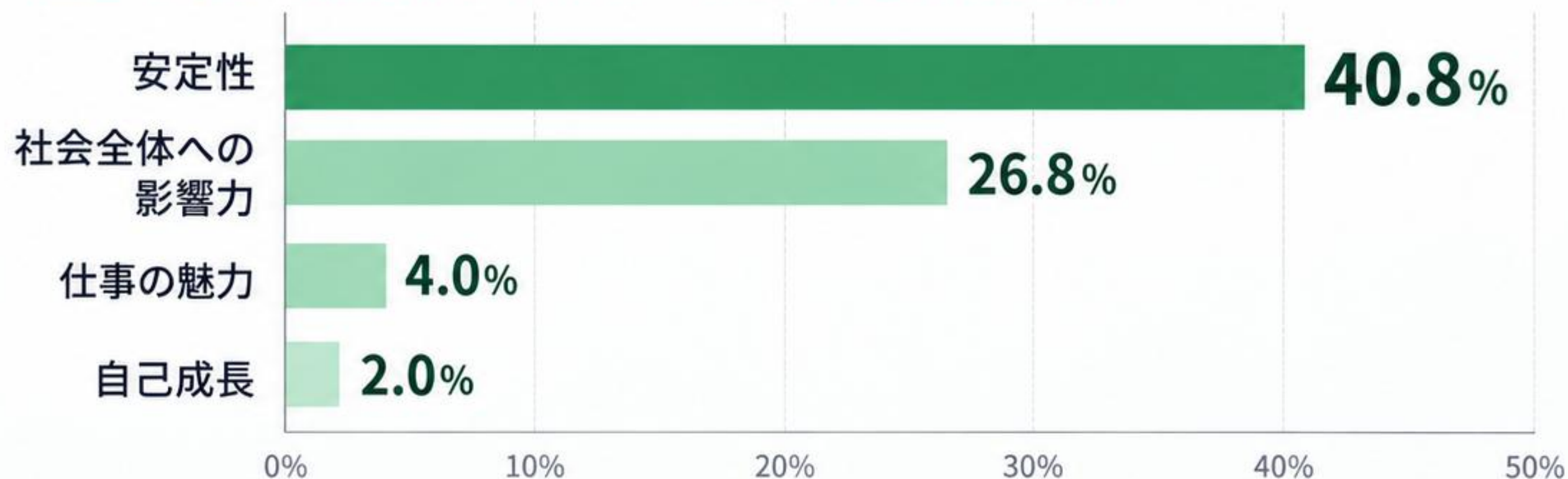
気づき

産業としての規模や社会的な役割と、
自分の就職先として考えることは同じではない。

物流の安定性と、仕事・成長のイメージには差がある

安定性や社会的な役割に比べ、仕事の魅力や自己成長は、プラスイメージとして挙がる割合が低い。

「陸運・海運・物流」のプラスイメージとして選ばれた割合



業界の安定性だけでなく、自分が何を経験し、
何ができるようになるかまで見えているかを考える。

12. 転職・入社後のキャリア

参考 | 物流に限らない転職者調査

採用だけでなく、入社後のキャリアも考える

転職者の半数以上が、前職でキャリアの停滞感を感じていた。

前職では、自身のキャリアに
停滞感を感じていた



内訳

とてもそう思う **19.3%**

まあそう思う **33.3%**

この数字から考えたいこと

- ✓ 入社後にどんな仕事を経験し、役割を広げていけるか
- ✓ 働き続けたいと思える環境をどう作るか
- ✓ 採用だけでなく、その後のキャリアも含めて考える必要がある



入社後にどんな経験や役割を用意するかも、人材を考える論点になる。

ここからは、これから働く学生の考えを聞く

物流の現状を共有したうえで、数字だけでは分からない、一人ひとりの経験や考えを聞いていきます。



就職・キャリア

- ✓ 仕事選びで重視すること
- ✓ 企業情報の集め方
- ✓ 将来への希望や不安



物流の仕事

- ✓ 事前に読んだ6職種への感想
- ✓ 関心を持った作業
- ✓ 選んだ理由・気になる点



AIとの関わり方

- ✓ 普段の具体的な使い方
- ✓ 仕事で使うときの確認
- ✓ 物流業務で期待する支援



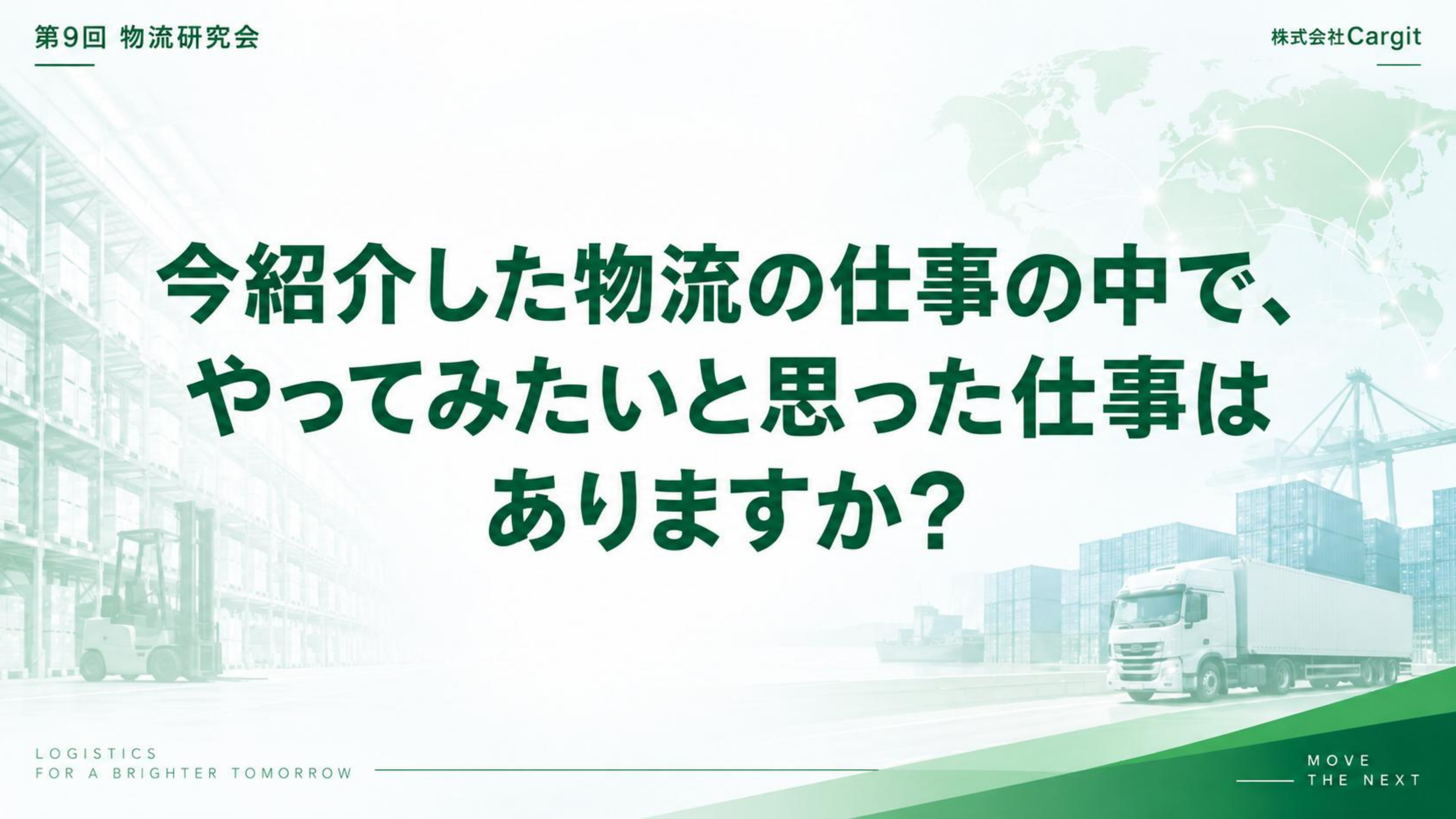
学生3人それぞれの経験・考えを聞くもので、学生全体を代表するものではありません。

仕事や会社を選ぶとき、 何を重視していますか？

就活では、企業の情報を どこから集めていますか？

**これからの働き方やキャリアについて、
どう考えていますか？**





今紹介した物流の仕事の中で、
やってみたいと思った仕事は
ありますか？

普段、AIをどんなふうに使っていますか？

物流の仕事でAIを使うとしたら、 どんな使い方がありと良さそうですか？

ロジテクノサービス LINE公式アカウント

- ▶ 物流研究会の開催情報
- ▶ 業務管理システム「ロジマネ」「海コンマッチング」などの情報
- ▶ 他情報など発信

<https://lin.ee/uObRBxZ>



次回物流研究会の予定は
HPまたは公式LINEをご確認ください